



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月23日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2804 URL <https://www.bulldog.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石垣 幸俊
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 佐伯 舞 (TEL) 03(3668)6821
 経営企画室長
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	11,233	0.5	515	370.0	1,164	70.6	2,318	366.3
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期		5,312百万円(559.5%)		2025年3月期第3四半期		805百万円(△24.4%)		
	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
2026年3月期第3四半期	円 銭		円 銭					
2025年3月期第3四半期	179.72		—					
	37.28		—					

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2026年3月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	38,009	25,449	67.0	2,003.62
	32,474	21,445	66.0	1,634.01

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 25,449百万円 2025年3月期 21,445百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2026年3月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年3月期(予想) 年間配当の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 5円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	15,300	4.7	600	169.0	1,300	50.4	2,300	268.8	178.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	13,419,080株	2025年3月期	13,954,880株
2026年3月期3Q	717,363株	2025年3月期	830,608株
2026年3月期3Q	12,900,940株	2025年3月期3Q	13,336,353株

※当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は：無監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要などのプラス要因はあるものの、米国の通商政策の影響、物価上昇は継続しており、食料品に対する消費者の節約志向は依然として続きました。

このような状況の中、当社グループは第11次中期経営計画「B-Challenge2025」の最終年度として、成長戦略である3テーマ（国内戦略・海外戦略・VC（バリューチェーン）戦略）の完遂をめざし事業を進めてまいりました。国内戦略では、グループ各社のブランド価値を活用し東日本、西日本それぞれのエリアごとに販売活動を進めるとともに、業務用販路の開拓を推進しております。海外戦略では、北米を中心に定番配荷が進んでいる現地系量販店での販売を推進するため、外食店におけるソースメニューと当社ブランドの認知獲得をめざし、外食企業への商談を進めております。VC戦略では、成長に向けた施策やサステナブルバリューチェーンの実現にむけた活動を進めています。また、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、2025年5月に旧鳩ヶ谷工場跡地を売却するとともに保有株式の売却を進め、あわせて自己株式の取得に積極的に取り組んでおります。

各カテゴリー別の売上高は、下記のとおりです。

(国内)

「家庭用ソース」は、米価の高騰などの影響が続いており「お好み焼ソース」「焼そばソース」などの専用ソース類の販売は好調に推移しましたが、主力商品である「ウスター、中濃、とんかつソース」の販売がふるわず、前年同期比1.3%減の61億4千6百万円となりました。

「業務用ソース」は、堅調なインバウンド需要の影響で引き続き好調な外食市場を中心にコンビニエンスストアの惣菜関連も拡大し、前年同期比7.0%増の33億2千9百万円となりました。

「家庭用（ソース以外）ドレッシング・たれ等」では、「&ブルドックドレッシング」が2025年11月に品質価値にこだわった新シリーズ「素材を味わうドレッシングプレミアム」3種を発売し、定番のラインナップと併せて好調に推移しましたが、「野菜のドレス」の販売戦略変更に伴う配荷店舗縮小の影響は続いており、前年同期比10.3%減の8億3千2百万円となりました。

「家庭用（ソース以外）その他」は、前年同期比4.6%減の4億8百万円となりました。

(海外)

「輸出」は、北米西部における現地系量販店への定番配荷の増加、アジア・オセアニアを中心にドレッシング類が売上拡大したことなどにより、前年同期比2.6%増の4億4百万円となりました。

「現地法人（上海）」は、日系企業に加えて中国系企業への売上が徐々に増加しており、前年同期比21.0%増の1億1千2百万円となりました。

この結果、売上高は前年同期比0.5%増の112億3千3百万円となりました。

利益面では、生産拠点の中心であるTATEYASHIクリエイションセンター（TCC）において生産性向上に向けた取組みを継続し経費の削減が進むと共に、前連結会計年度に実施した販売戦略の変更等により収益性が向上し、営業利益は前年同期比370.0%増の5億1千5百万円となりました。経常利益は投資有価証券売却益などにより11億6千4百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は旧鳩ヶ谷工場跡地譲渡に伴う固定資産売却益21億5千万円の計上などにより23億1千8百万円となりました。

今後は、「家庭用ソース」の主力商品である「ウスター、中濃、とんかつソース」の売上拡大策として、2026年1月より「パンどろぼう」とのコラボキャンペーンを中心に、店頭とSNSで連動しソースメニューを楽しむプロモーションを全国で展開してまいります。また、若年層をターゲットとした世界のスパイシーソースが楽しめる「ワールドスパイシーソース麻辣たれ240g、ジャークソース235g」、刺激的な味わいの「ストロングソース鬼辛200ml、鬼ににく200ml」を2026年2月に新発売し、新たな売場開拓を進めてまいります。「業務用ソース」においては、伸長が続く外食市場への提案を強化し、更なる売上獲得をめざします。また、当連結会計年度の重要な取組みとして、グループ全体での生産性向上と、効率的な原料調達を推進してまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

①資産の部

資産合計は、前連結会計年度末に比べて55億3千4百万円増加し、380億9百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて22億6千4百万円増加し、104億1千8百万円となりました。これは、旧鳩ヶ谷工場跡地売却等により現金及び預金が17億3千7百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて32億7千万円増加し、275億9千1百万円となりました。これは、株価上昇により投資有価証券が42億4千1百万円増加したことによるものです。

②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べて15億3千万円増加し、125億5千9百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5億2千5百万円増加し、52億1千5百万円となりました。これは、固定資産売却益の発生等により未払法人税等が7億8千1百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10億5百万円増加し、73億4千4百万円となりました。主な増加は、繰延税金負債13億5千4百万円であります。

③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて40億4百万円増加し、254億4千9百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益などによる利益剰余金8億1千9百万円、その他有価証券評価差額金29億9千9百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年10月24日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,461	4,198
売掛金	4,382	5,071
商品及び製品	836	780
原材料及び貯蔵品	182	214
仕掛品	18	28
その他	271	124
流動資産合計	8,153	10,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,872	6,628
機械装置及び運搬具（純額）	4,086	3,640
土地	2,784	2,534
その他（純額）	243	228
有形固定資産合計	13,987	13,032
無形固定資産	178	147
投資その他の資産		
投資有価証券	9,475	13,717
繰延税金資産	82	71
その他	604	631
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	10,154	14,411
固定資産合計	24,320	27,591
資産合計	32,474	38,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,591	1,798
電子記録債務	211	220
短期借入金	230	230
1年内返済予定の長期借入金	615	620
未払法人税等	135	917
未払金	230	81
未払費用	1,126	1,034
賞与引当金	159	102
その他	389	210
流動負債合計	4,689	5,215
固定負債		
長期借入金	4,035	3,601
繰延税金負債	1,476	2,831
退職給付に係る負債	739	784
役員株式給付引当金	31	45
執行役員退職慰労引当金	25	40
長期未払金	14	14
その他	17	27
固定負債合計	6,339	7,344
負債合計	11,029	12,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	15,275	16,095
自己株式	△1,210	△1,019
株主資本合計	17,674	18,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,706	6,706
為替換算調整勘定	25	23
退職給付に係る調整累計額	38	33
その他の包括利益累計額合計	3,770	6,764
純資産合計	21,445	25,449
負債純資産合計	32,474	38,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	11,181	11,233
売上原価	7,953	7,616
売上総利益	3,228	3,617
販売費及び一般管理費	3,118	3,101
営業利益	109	515
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	242	249
投資有価証券売却益	366	446
受取保険金	1	—
その他	8	7
営業外収益合計	618	703
営業外費用		
支払利息	38	46
支払手数料	—	5
為替差損	1	—
その他	7	3
営業外費用合計	46	55
経常利益	682	1,164
特別利益		
固定資産売却益	0	2,150
その他	—	2
特別利益合計	0	2,153
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	682	3,317
法人税等	185	998
四半期純利益	497	2,318
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	497	2,318

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	497	2,318
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	312	2,999
為替換算調整勘定	1	△1
退職給付に係る調整額	△6	△4
その他の包括利益合計	308	2,994
四半期包括利益	805	5,312
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	805	5,312
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第3四半期連結累計期間において自己株式を、2024年10月25日開催の取締役会決議に基づき304,200株（584百万円）、また2025年5月15日開催の取締役会決議に基づき118,200株（224百万円）取得いたしました。あわせて2025年10月24日開催の取締役会決議に基づき2025年11月14日付で自己株式535,800株（999百万円）の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は10億1千9百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ソース類の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	850百万円	860百万円